

ささげるクリスマス

チャプレン 伊藤 滋

1年前のクリスマスに、北浦三育中学校のキャンパスに大きく美しいクリスマスツリーが出現しました。このツリーは、北浦で育った一人の青年の「北浦三育中学校の50年間の感謝を込めて、最後のクリスマスにグリーンチャペル横の大きな木をイルミネーションで飾りたい!」という提案から生まれました。

当初、このツリーのための予算もなければ、どうやって大きな木に電球を取り付けるかも分かりませんでした。彼女には「この木をクリスマスツリーにしたい!」という情熱がありました。この提案を実現させるためにはいくつかの課題がありました。彼女は自分のアイデアを分かりやすくイラストにまとめて教会の皆さんに訴えました。すると次々と協力者が現れ、お金も集まり、計画が本格的に動き出したのです。

彼女はこのツリーを完成させるために自分が持っている色々なものをささげました。その情熱はたくさんの人の心を動かし、イルミネーションが完成しました。

このツリーは北浦三育中学校最後のクリスマスシーズンに、キャンパス内だけでなく、地域の方々にもたいへん喜ばれ、たくさんの方々が北浦三育に足を運んでくださいました。



聖書の言葉

彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。

(新約聖書 マタイによる福音書 2:9~11 新共同訳)

クリスマスの喜びは「与える喜び」あるいは「ささげる喜び」であると聖書は教えています。この大きなツリーが完成した時、たくさんの人が集まり、喜んでいる様子を嬉しそうに眺める彼女の顔を見たとき、そこには「与える喜び」「ささげる喜び」がありました。一人の青年が、自分の時間や情熱を神様にささげるために立ち上がらなければ、あのクリスマスツリーは存在しなかったでしょう。

あなたは今年のクリスマスに何をささげ、与えるでしょうか？自分の宝の箱を開けて、何かをおささげするとき、私たちはこのクリスマスの喜びを体験することが出来るでしょう。